

平成
25年度

友の会の会員様へ

わたしたちの快適な暮らしを1年間支えてくれてありがとう

THANK YOU!



友の会に2,195件 8,957,000円の支援が寄せられました。
平成25年度の動物を中心とした動物園事業に全額を使用させていただきました。
動物たちへの優しい暮らしと環境の維持に役立っています。



■園でかかる光熱水費 約2,739万円

電気代として1,126万円使用しました。
動物の健康状態を維持するために照明はもちろん
空調や床暖房、ヒーターや流水のためのポンプ類
等で使用されています。

また水道代として1,613万円使用しました。
ゾウ、トラのプールやバードケージやサル山の池
等の維持に、その他の多くは、獣舎清掃などに
使用しています。

経費については無駄をなくし、できるだけ節約
を心がけ、コスト削減のために努力・工夫を行っ
ておりますが、動物の命をつなぐものとしてエサ
代同様、光熱水費は欠かすことのできない経費で
す。みなさまのご協力を今後ともよろしく願い
いたします。

■獣舎の環境維持・改善 約33万円支出

動物の獣舎や動物パドック周りの修繕・改善及び
動物用医療機器の修繕等に使用しました。

主な改善内容として

- ・飼育室水道管工事 約12万円
- ・チンパンジー舎補修 約2万円
- ・チンパンジー・ゾウ舎照明取替 約9万円
- ・フクロウ照明改修工事 約6万円 他

■平成25年度に誕生した新しい生命たち

みなさんの温かいご支援のおかげで動物たちはのびのび
と生活し、マンドリルやロバやキリン等に赤ちゃんが
生まれました。みんな元気にスクスク育っています。

■会員への情報郵送料、会員証等

約65万円

会員の方に年2回園情報を郵送しています。
ファン感謝祭のお知らせと、収支報告書を郵送する費用です。
経費を節約するために同世帯の会員様には1通の情報提供と
させていただきます。

その他、会員証の印刷代などを支出しました。

平成
25年度

到津の森公園基金&動物サポーター支援者様へ

わたしたちのご飯を1年間支援してくれてありがとう



到津の森公園基金に26件625,152円(うち法人5件193,152円)の支援が寄せられました。(平成11年度からの累計96,078,198円)全額平成26年度以降の動物導入等のために積み立てています。

動物サポーターに862件17,224,821円の支援が寄せられました。

うち法人・団体サポーター111件13,495,821円。

平成25年度の動物のエサ代等として全額使用させていただきました。

これからも、ご支援をよろしくお願いいたします。

動物のエサ代 約2,057万円

マンドリルやロバの赤ちゃんの誕生等新しい仲間が増えました。約100種500点の1年間のエサ代です。

主なものは、



■ゾウ2頭が1日に必要なエサの分量は、およそ乾草40kg、青草8束、笹15kg、ペレット(固形飼料)16kg、ヘイキューブ(干し草固形飼料)10kgで年間約375万円。



■チンパンジー8頭が1日に必要なエサの分量は、およそキャベツ3kg、サツマイモ4kg、ニンジン4kg、バナナ3.5kg、リンゴ2kg、オレンジ2kgで年間約170万円。



■ニホンザル51頭が1日に必要なエサの分量は、およそキャベツ5kg、サツマイモ5kg、ニンジン4kg、バナナ3kg、リンゴ3kg、オレンジ3kgで年間約240万円。

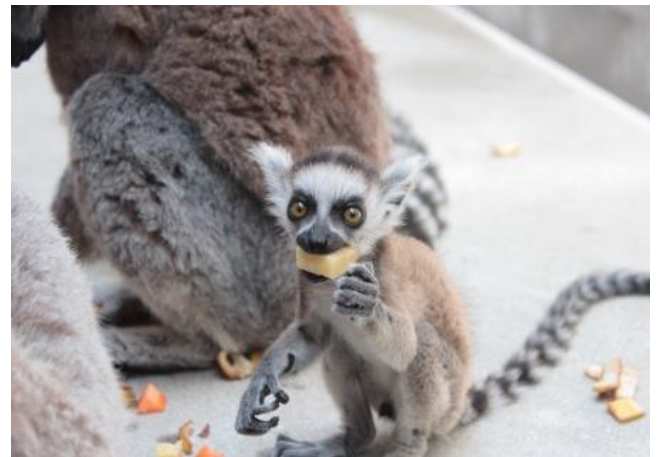


■ライオン2頭が1日に必要なエサの分量は、およそ丸鶏3kg、馬肉4kgで年間約50万円。



■キリン2頭が1日に必要なエサの分量は、およそ主に木の枝2kg、カッターサン(干し草を切ったもの)4kg、圧pentウモロコシ(フレック状のトウモロコシ)5kg、ペレット(固形飼料)5kgで年間約120万円。

このような動物サポーターのみなさんのご支援により、動物たちに経営に左右されない安定したエサの提供ができています。



■動物の薬約100万円支出

当園の動物たちの健康を守るための薬等を購入し、園内の動物の健康管理や治療、検査などで使用しました。

■会員への情報郵送料、認定証、記念品等約45万円

会員の方に年2回園情報を郵送しています。ファン感謝祭のお知らせ、収支報告書を郵送する費用です。経費を節約するために同世帯の会員様には1通の情報提供とさせていただきます。

また、法人サポーターを対象に認定証を作成しました。

その他、レッサーパンダやゾウのために竹を定期的に提供いただいたり、米などの穀類や新鮮な野菜・果物・お肉等を提供いただきました。米はサルたちの冬の暖をとるためのおやつとしておにぎりにして提供しています。

また、飼育スタッフとボランティアによるエサとり(新鮮な野草や雑草を刈りエサとして使用)などで、全体のエサ代を節約することができました。